



◀市制施行10周年記念誌『新編庄内史年表』を発行(3月1日)  
原始時代～平成26年の鶴岡市域を中心とした出来事約1万1,000項目が掲載されています



◀42年ぶりに「みゆき通り」の一方通行解除(3月1日)  
中心商店街の活性化や中心市街地へのアクセス向上のため規制が解除され対面通行が可能になりました

3月 2月 1月

- 31日 「鶴岡市国際観光推進」を発行
- 30日 鶴岡まちづくり塾羽黒グループが『おもてなし観光ガイドブック』を発行
- 25日 消防署北分署を移転、業務開始
- 25日 鶴岡まちづくり塾鶴岡グループが『学校給食発祥のまちつるおか給食今昔物語り』を発行
- 22日 国立がん研究センターの研究連携拠点が本市へ設置される方針が決定
- 1日 朝日庁舎で朝日地域福祉ワNSTトップサービスを開始
- 26日 「伝統と革新を紡ぐ『鶴岡シルク』とシルクタウン・プロジェクト」と題してふるさと名物応援宣言を発表
- 12日 朝日中学校新校舎のしゅん工式を開催
- 10～16日 イタリア食科学大生が来鶴。鶴岡の食文化を学ぶ
- 31日 鶴岡食文化みらい創造ワークショップを開催
- 30日 月山ジオパーク構想シンポジウムを開催

# 振り返る

去年はどんな1年でしたか？  
ここで、鶴岡市の去年の主な出来事を振り返ってみましょう。

10月 9月 8月

- 7日 ラフォア市・鶴岡市友好都市盟約20周年記念
- 17日 鶴岡第三中学校改築工事の安全祈願祭を開催
- 16日 慶應義塾大学先端生命科学研究所15周年記念シンポジウムが開催
- 10・12日 天皇皇后両陛下が加茂水族館、松ヶ岡開墾場をご視察、鶴岡アートのフォーラムでご会食
- 10・11日 第36回全国豊かな海づくり大会くやまがたが開催
- 7日 リオデジャネイロパラリンピックが開会(～18日)
- 29日 市道赤川土手線が通年車両通行止め
- 5日 リオデジャネイロオリンピックが開会(～21日)
- 1日 名寄市・鶴岡市姉妹都市盟約20周年記念式典に参加
- 20日 鶴岡市、荘内銀行、北茨城市、筑波銀行が観光・地域経済の活性化、地域資源の活用に向け連携協定を締結



◀「食と農の景勝地」に認定(11月1日)  
全国で5地域が認定。「ユネスコ食文化創造都市で体感する食と風土」をテーマに、鶴岡食文化のPR・誘客強化を図ります



◀パリ・ユネスコ本部等でインバウンド(訪日外国人旅行)プロモーション事業を展開(10月17日～21日)  
出羽三山の精神文化の紹介、和菓子づくりの実演などを通して鶴岡をPRしました



◀鶴岡job caféを東京で初開催（7月17日）

本市へのUターン就職を希望・検討している方を対象に開催。企業ブースや移住相談ブース等では活発な交流が行われました



◀出羽三山が日本遺産認定（4月27日）

日本遺産の認定は県内初。出羽三山の雄大な自然や、羽黒山五重塔、六十里越街道などを基にしたストーリーが評価されました

7月 6月 4月

- 16日 市指定有形文化財「日向家住宅」を移築・復元した丸岡城跡史跡公園ガイダンス施設「楽朋館」が開館
- 10日 選挙権が開始
- 2日 加茂水族館リニューアル後の入館者が150万人を突破
- 21日 出羽三山「生まれ変わりの旅」推進協議会設立総会を開催
- 14日 本市が東京オリンピック・パラリンピックでのドイツ連邦共和国のホストタウンに決定
- 14日 熊本地震が発生
- 1日 大網小があさひ小に統合
- 1日 栄小・山戸小が統合し「あつみ小学校」が開校
- 1日 温海小・五十川小・福栄小が統合し「広瀬小学校」が開校
- 31日 「鶴岡市地域公共交通網形成計画」を策定
- 31日 「鶴岡市地域福祉計画」を策定
- 31日 「鶴岡市地域福祉計画」を策定

# 鶴岡の2016年を

12月 11月

- 21日 「早稲田大学総合研究機構と鶴岡市とのまちづくりに関する協定」を締結
- 9日 本市が東京オリンピック・パラリンピックでのモルドバ共和国のホストタウンに決定
- 8~10日 イタリア食科学大学連携フィールドスタディーツアー、公開シンポジウム等を開催
- 7日 羽黒町狩谷野目の羽黒中央地区浄化センターで流し初め式を開催
- 7日 イタリア食科学大学と戦略的連携協定を締結
- 2日 消防署羽黒分署を移転、業務開始
- 28日 藤島歴史公園の愛称が「Hisu花」に決定
- 27日 市内荒沢の一般県道鶴岡村上線笹根トンネルが開通
- 26日 「出羽三山1400年の歴史と未来を語る」を開催
- 12日 東洋大学社会学部「庄内藤島調査」10周年記念講演会を開催
- 12日 祝賀会を開催



◀新羽黒庁舎が完成（11月9日）

消防署羽黒分署・図書館羽黒分館も併設。庁舎機能を複合化することによって、利便性の向上と地域の拠点となることを目指します



◀日本海沿岸東北自動車道朝日温海道路の工事安全祈願祭が開催（11月5日）

早期開通に願いを込め、国や県、自治体の関係者らがくわ入れ。本線工事の着工を祝いました